

資料持ち出し

に送り、特別防衛秘
を漏らした疑い。
資料は教官の三佐から
教官の一尉に渡り、
生じた隊員や、その
乗艦した護衛艦の部下
がコピー。海曹士ら
の間で拡散し、この
一海曹が自宅に隠し

持っていた。
松内容疑者と教官だっ
た三佐は〇二年五七
月、イースシステム習
得のため米国に留学。教
官の三佐が「いい資料は
ないか」と持ち掛け、松
内容疑者が応じたらし
い。

で、防衛省は十三日、同社
との契約に基づき東京都
港区の本社を立ち入り調
査し、契約関係書類や帳
簿類を確認するとともに
社員から事情を聴いた。
記録が残る二〇〇二年
度以降の同社との約六百
七十件の契約について進
めている調査の一環。
防衛省は、山田洋行が
海外メーカー側の見積書

倉庫や民家ら棟焼く

鎌ヶ谷 こん包会社から出火

十三日午後零時十五分
ごろ、鎌ヶ谷市栗野七四
五、貨物こん包業「ヤマ
グチ」(山口光雄社長)
の作業場兼倉庫から出火
し、木造平屋建て約五百
平方メートルを全焼した。火は
隣接する民家にも燃え移

り、木造二階建て約百二
十平方メートルを全焼したほ
か、別の民家三棟の一部
も焼き、約五時間後に消
し止められた。
鎌ヶ谷署によると、同
作業場は航空貨物用のこ
ん包作業を行っており、

チケット詐欺
双子の姉妹が「東京宇
ズニート」のチケッ
トを買って換金すれば必
ずもかる」とちををつ
いて現金をたまし取っ
ていた事件で、千葉地検は
十三日、詐欺罪で妹の八
千代市上高野、無職、大
嶋博美容疑者(三九)も起訴
した。八千代署は、大嶋
被告と姉の古山直美被告

“受注独占”業者に自宅改築発注

旭市立国保旭中央病院の
吉田象二病院長が、同病院
施設の建設工事のほとんど
を請け負ってきた市内建設
業者に自宅改修工事を発注
していたことが、千葉日報
社の取材で分かった。吉田
病院長は地方公営企業法全
部適用を受ける病院事業管
理者であり、契約に関して
全権を握る。公的工事を
受注する業者に、私的工事

を請け負わせていたこと
について、開会中の市議会
で疑問の声が上がっている。
この建設業者は同病院が
発注した二〇〇五年十月か
ら今年十月までの五百万円
以上の建設工事十三件のす
べてを受注。契約金額の合
計は十一億円以上。病院関
係者によると、これ以前に
施工された合計で数百億円
となる病院本体工事のほと

旭中央病院院長

んども同社が請け負ってき
たという。
改修は二度にわたって行
われ、昨秋、外壁塗装と屋
根のふき替え、内部の一部
手直しが行われ、今秋、キ
ッチンを入れ替えた。吉田
病院長の自宅は一九八九年
の登記。同市西足洗の同病

院所有地約三百三十平方メ
ートルの敷地に、建設業者の兄弟
会社が新築した。後に両社
は統合した。
建設会社は取材に対し
「建てた当社が改築を引き
受けるのは普通行為。不正
行為はしていない」とし、
病院工事には「(発注を)
相当にいただいていることは
事実だが、不正でもらって
いるわけではない」と話し

ている。
公共事業の発注者の立場
でありながら受注業者に自
宅を改築させたことは、十
日の市議会一般質問でも取
り上げられ、高橋利彦市議
が「正当な値で工事をやっ
ても、周りの人は疑惑の目
で見ると指摘したが、病
院側の答弁はなかった。
千葉日報社の取材に吉田
病院長は自宅改修工事を発
注したことは認めている
が、工事内容や発注金額な
どは明らかにしていない。

市議会で疑問の声